



▲飯岡小

子どもたちが 安心して生活できるよう 計画的に整備します 義務教育施設の耐震化

子どもたちがともに学び、触れ合い、楽しい生活を送っている学校。市内には15の小学校と5つの中学校があります。市では、子どもたちが一日の多くを過ごすこの場所を、安全で安心して学べるように計画的に整備を進めています。

今回、義務教育施設の耐震化について、その取り組み状況をお知らせします。

公立小中学校施設の耐震診断実施状況

平成19年4月1日現在

	全棟数 A	昭和56年以前 建築棟数 B	昭和57年以前 建築棟数 C	耐震診断実 施済棟数 D	耐震診断実 施率 $E = D / B$	昭和56年以前 建築の棟 でも耐震性 があるか、 すでに補強 済みの棟数 F	耐震化率 $G = (C + F) / A$	昭和56年以前 の建物に係る耐震化 率 $H = F / B$
					%		%	%
全 国	129,559	80,762	48,797	72,167	89.4	27,126	58.6	33.6
千葉県	4,676	3,174	1,502	3,123	98.4	995	53.4	31.3
旭 市	67	34	33	31	91.2	11	65.7	32.4

なぜ耐震化が必要な

最近、国内では大きな地震が発生しており、全国的にいつ、どこで発生するか分からない状況にあります。

こうした中、学校施設は児童生徒の学習・生活の場として安全で安心できる施設でなければなりません。また、災害時には避難場所として利用されることもあり、そういう意味でも学校施設は災害に耐えうる建物であることが



▲建築が進む二中屋内運動場

必要とされることから、耐震化を進めています。

耐震化にはどんな方法があるの

耐震診断の結果により、次の方法がとられます。

耐震補強／必要に応じて、既存の建物に対し鉄骨ブレース（すじかい）や耐震壁を設置します。

改築／既存の建物を解体し、新たに建築します。

耐震診断の対象は

現在の耐震設計基準が適用された昭和57年より前に建てられた施設が対象になります。

耐震化が必要な学校は

昨年9月に実施した耐震診断の結果、耐震性が足りないとい判断された施設は次のとおりです。

補強・大規模改造工事／中央小南校舎、干潟小、共和小、豊畑小、鶴巻小、滝郷小、飯岡小、第一中、干潟中（共和小・豊畑小は屋内運動場を含む）
改築／中央小北校舎、矢指小、第一中屋内運動場、第二中、飯岡中



▲ブレースで補強された教室（豊畑小）

工事の取り組み状況は

平成18年度（6校8棟）／干潟小・共和小・豊畑小・飯岡小・第二中屋内運動場・干潟中
平成19年度（5校7棟）／中央小南校舎・鶴巻小・滝郷小・第一中・第二中
平成20年度以降（4校8棟）／中央小北校舎・矢指小・第一中屋内運動場・飯岡中

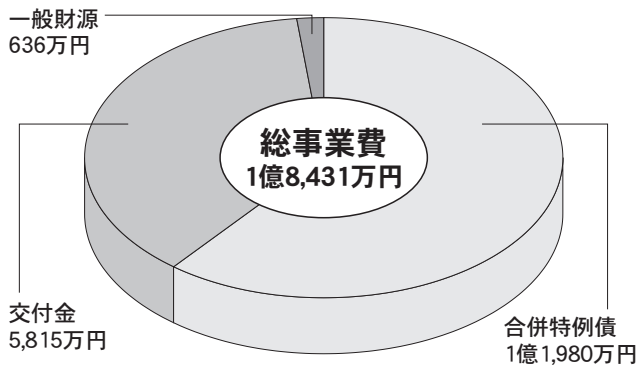
これだけ工事すると費用もかかるのでは

市では、現在10校で工事を行っていますが、費用の一部は合併特例債など後年度に国から交付税で措置される資金を利用していきます。これらを利用することで将来の負担が大きくなるらないよう、事業を進めていきます。

耐震化工事に利用できる資金は

合併特例債／合併した市町村が利用できる制度で、元利償還金の70パーセントが国から交付税で措置されます。補正予算債／元利償還金の50パーセントが国から交付税で措置されます。安全・安心な学校づくり交付金／通常は、事業費の3分の1の補助ですが、地震補強工事については、平成22年度までは2分の1が補助されます。

【例】共和小学校校舎大規模改造事業



※合併特例債1億1,980万円のうち8,386万円が交付税で措置されますので、実償還額は3,594万円となります。

〈問い合わせ先〉

教育委員会庶務課

☎ 5515722